

事業概要	循環型社会を形成する組織へのコンサルティング	
部署	—	
所在地	〒111-0054 東京都台東区鳥越2丁目2-7-3階	
連絡先	※コンタクトを取りたい場合は事務局までご連絡ください。	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	地域の自然環境が豊かであり続けるために、地域と市民の生活が融合した市民主導の地域活性を行う。それを通じてサーキュラリティ(循環)やリジェネレイティブ(再生)をテーマに、自然環境と住民を地域のステークホルダーにゼロウェイストやサステナブルな意識を持ち、自発的に意識コミュニティを拡張させる市民が生まれる社会の実現を目指す。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	サーキュラーエコノミー
	事例1 自然や特産品など豊かな地域資源が残ると同時に、2050年には地球温暖化による海面上昇により沈没が予想される地域でもある新潟県西蒲原地区にて行った事業事例。地球温暖化の影響を受ける可能性がある地域の住民、新潟県西蒲原地区の事業者が後世を考えそこに住み続ける心構えとして未来への言葉を集め、地域で掲げる10か条の宣言文「にしかんローカルマニフェスト」として発表、弊社では制作監修・コピー作成を行った。 (主催:にしかんずかん編集部) 事例2 川内港久見崎みらいゾーン産業立地 基本計画 「21世紀型産業:デジタル循環型経済を薩摩川内へ」 鹿児島県薩摩川内市、久見崎みらいゾーンを新しいモノづくりと資源循環を合わせたデジタル循環型経済に基づく21世紀型産業の集積拠点にすることを目指す取り組み。川内港久見崎みらいゾーンの発展の中で、未来の薩摩川内市を背負って立つスタートアップ企業を発掘・育成する。弊社大山が有識者として検討会参加、また域内コミュニティ開発計画書作成。循環をテーマにした市民参加型レクチャー&ワークショップの企画&実施を行なった。 長期的な計画では、2023年予定の施設竣工に先立ち、2021年に市民主導型の地域の課題解決の場、Civic Incubation Lab(仮)を準備中。fog は、域内に暮らす市民の意識を作り出すコンテキストの設計を行なっている。	
	URL	<a href="https://www.niigatawestcoast.com/nishikan/about/manifesto/">https://www.niigatawestcoast.com/nishikan/about/manifesto/</a>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	

自者の特徴	<p>今年度では、島根県雲南市との連携が決定。循環リーダーシッププログラムを構成し、うんなんコミュニティ財団と共同で実施する。</p> <p>他者との差別化として、特色を持ち合わせた弊社人材が集まって出来るプロジェクト内容の質を挙げる。弊社fog は食やコミュニティ形成、サーキュラー(循環)やリジェネレーション(再生)の知識に精通している弊社代表大山貴子、Think Do Tankである株式会社リパブリックの共同代表であり、豊富なりサーチの経験を元にイノベーションの生態系について研究と実践を手がける弊社取締役の市川文子、環境資源科学分野でマイクロプラスチックによる海洋汚染の研究をしてフィールドワークの経験が豊富な社員大垣多恵で構成される。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—